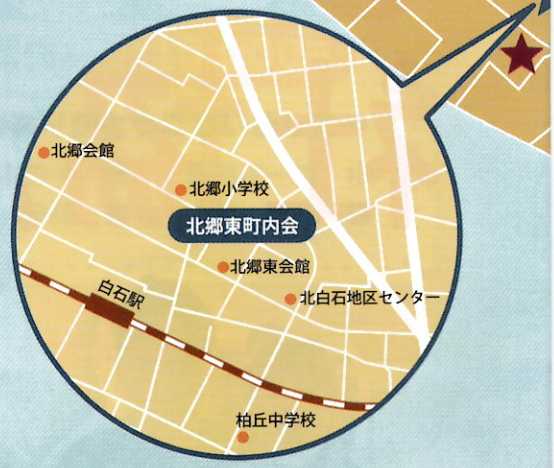
町内会を深掘り！

北白石地区

北郷東町内会





北郷東町内会
会長　東 正則さんに
お話をうかがいました！

地域の特徴

北郷東町内会は、令和８年６月１日現在で約4,025世帯、33分区からなる大きな町内会です。戸建て住宅が多い地域ですが、近年は白石駅周辺を中心にマンションも増え、幅広い世代が暮らす地域へと変化しています。特に北13条・北郷通周辺は買い物環境も良く、生活しやすい地域として親しまれています。

子ども向けのイベントも充実

若い世代に町内会を身近に感じてもらうため、青少年部を中心に子ども向けイベントを積極的に開催しています。イベントとしては、スノーキャンドル（毎年開催する人気イベント）・人形劇・クリスマス会・親子講座(マグカップ作り等)・移動天文台などを実施しています。企画は若い世代が中心となり、運営は町内会メンバーが協力して支えています。子育て世代が町内会に関わるきっかけづくりとして、今後も継続していく予定です。

福祉活動について

町内会実施主体のサロン「娯楽の日」は３年目を迎えました。今では毎回40名ほどが参加する人気の場となりました。麻雀（10卓に増えるほどの人気）、おしゃべり、体操、ゲーム、手芸など実施しています。昼食のお弁当（500円）やコーヒーの提供もあり、参加者同士の交流が自然に生まれる温かい場となっています。参加対象は町内会員ですが、会員の友人の参加も柔軟に受け入れています。

また、敬老の日には毎年、77歳・88歳・99歳の節目を迎えた方へお祝いを行っています。

防災やその他の取り組みについて

かつては分区ごとに防災訓練を行っていましたが、高齢化やコロナ禍の影響もあり、現在は町内会全体で消防署の指導を受けながら防災訓練を実施しています。また、避難所設置訓練（テント・トイレなどの備品を活用）少年消防団との合同訓練も実施しました。地域の防災力を高めるため、今後も継続して取り組んでいきます。

その他の取り組みとしては、毎月広報紙「きたごう」を全戸配布、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSも活用し会員に町内会活動をお知らせ、ご理解頂いております。

今後の町内会の展望をお聞かせください

コロナ前までは高齢者名簿を作成していましたが、継続が難しくなり中断していました。今年度は、分区単位での「見守りマップ」づくりに再挑戦する予定です。無理のない範囲で、できるところから少しずつ取り組みを進めていきます。北郷東町内会では、子どもから高齢者まで、幅広い世代が安心して暮らせる地域づくりを目指し、さまざまな活動を続けています。今後も地域の皆さまとともに、より良い町内会運営を進めてまいります。


サロン「娯楽の日」の様子


スノーキャンドル


防災訓練


移動天文台